

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（実社会対応プログラム）
公募型研究テーマ 研究概要

課題（研究領域）

人口減少地域社会における安心しうるケア・システムの構築と生活基盤の整備

研究テーマ名

多世代協働による生活支援モデルの開発と社会実装に向けた研究

責任機関

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター

研究実施期間

平成27年10月～平成30年9月

研究プロジェクトチームの体制

氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者	
藤原 佳典	東京都健康長寿医療センター研究所・社会参加と地域保健研究チーム・研究部長
分担者	
野中 久美子	東京都健康長寿医療センター研究所・社会参加と地域保健研究チーム・研究員
福島 富士子	東邦大学看護学部・家族・生殖看護学・教授
倉岡 正高	東京都健康長寿医療センター研究所・社会参加と地域保健研究チーム・研究員
安永 正史	東京都健康長寿医療センター研究所・社会参加と地域保健研究チーム・研究員
南 潮	東京都健康長寿医療センター研究所・社会参加と地域保健研究チーム・研究員
小池 高史	日本大学・文理学部社会学科・助手
<u>澤登 久雄</u>	大田区地域包括支援センター入新井・センター長、 おおた高齢者見守りネットワーク・事務局長
<u>甲田 恵子</u>	株式会社AsMama・代表取締役社長

<u>徳田 武</u>	ライフ出版株式会社・代表取締役社長
<u>村山 陽</u>	NPO 法人日本世代間交流協会・監事

※実務者は氏名に二重下線

配分（予定）額

（単位：円）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
2,390,000	4,210,000	3,030,000	1,600,000

※平成28年度・平成29年度・平成30年度については予定額

研究目的の概要

本研究では、子育て支援と、高齢者の見守り・社会参加支援の二つの分野で先進事例とされる民間企業と地域団体の持つシステムと人的資源を融合し、新総合事業における新しい生活支援サービス提供のシステム開発と多世代で共創する地域づくりのモデルを開発することを目的とする。

研究計画の概要

平成27年度は、対象地域（東京都大田区内モデル地区）住民を対象にした基礎調査及び、本研究を遂行する作業部会を立ち上げる。28年度は、コーディネーター（暮らしサポーター）の養成講座を実施し、生活支援サービスをマッチングするWebシステムを開発する。29年度は、暮らしサポーターとWebの運用と検証を進め、最終年度には追跡調査とシンポジウムを開催し、普及啓発を行う。